

熊野古道と日本の宗教

年代	時代	天皇	日本の政治 摂政 (太政大臣)	政権 (征夷大將軍)	熊野信仰	仏教	世界
	縄文時代 (BC10000~BC290)				熊野自然信仰 神倉神社：ごとびき岩 花窟神社：はなのいわや 那智大社：滝そのものが信仰の対象 古事記関連 イザナミ：熊野 (死の国) に葬られる 八咫鳥：神武天皇の東征		
	弥生時代 (BC290~313)	神武天皇 前660-前585 綏靖天皇 前581-前549 安寧天皇 前549-前511 懿徳天皇 前510-前477 孝昭天皇 前475-前393 孝安天皇 前392-前291			熊野那智大社創祀 (孝昭天皇の時代)		秦 (前246~前221) 始皇帝が不老長寿の 薬を求めて僧、徐福を 日本に送る。(BC219) 蓬莱信仰伝来
0							漢 (前206~前208)
10							
20							
30							
40							
50							
60							
70		垂仁天皇 前29-70			熊野=神々の郷、再生の里、よみがえりの国 新宮に徐福の墓		
80					各社の祭祀 伊勢神宮：天照大神 熊野権現：家都御子、速玉、牟須美 出雲大社：大国主命 諏訪大社：建御名方命		
90					熊野本宮：家都御子=素戔嗚尊 熊野速玉：速玉=伊邪那岐？ 熊野那智：夫須美大神=伊邪那美神？		
100					熊野速玉大社創祀 (景行天皇の時代) 景行天皇五十八、神倉神社から速玉大社へ遷宮 (新宮)		
110							
120							
130		景行天皇 71-130					
140							
150							
160		成務天皇 131-190					
170							
180							晋

年代	時代	天皇	日本の政治 摂政（太政大臣）	政権（征夷大將軍）	熊野信仰	仏教	世界	
190		仲哀天皇 192-200					(263~316)	
200								
210								
220								
230								
240								
250								
260								
270		応神天皇 270-310						
280								
290								
300								
310	古墳時代 (313~592)	仁徳天皇 313-399			仁徳天皇の御世(4世紀) 印度天竺の僧、裸形上人が那智大滝に おいて修行を積み、その暁に瀧壺で八寸の観音菩薩を感得し、 ここに草庵を営んで安置したのが最初。		南北朝 (311~416)	
320								
330								
340								
350								
360								
370								
380								
390								
400			履中天皇 400-405					
410			反正天皇 406-410					
420			允恭天皇 412-453					
430								
440								
450			安康天皇 453-456					
460			雄略天皇 456-479					
470								
480			清寧天皇 480-484					
490			顕宗天皇 485-487					
500		仁賢天皇 488-498						
510		武烈天皇 498-506				儒教伝来（5世紀?） 道教伝来 陰陽五行説伝来		
520		継体天皇 507-531						
530		安閑天皇 531-535						
540		宣化天皇 535-539						
550		欽明天皇 539-571			仏教伝来/552	仏教伝来/552 鎮護国家の為の儀式		
560								
570		敏達天皇 572-585						
580		用明天皇 585-587					随(589~604)	
590	飛鳥時代 (592~710)	崇峻天皇 587-592	聖徳太子摂政					
600		推古天皇 592-628						
610								
620		舒明天皇 629-641						
630								
640		皇極天皇 642-645						
650		孝徳天皇 645-654			有間皇子：658年11月11日都への帰途蘇我赤兄により藤白坂（海南市）	17条の憲法（三宝：仏、法、僧）	唐(618~907)	
660		斉明天皇 655-661						
670		天智天皇 661-671	大友皇子/671-672					
680		弘文天皇 671-672			682年熊野の僧徒が『牛王宝印』（熊野誓紙）を奉納			

年代	時代	天皇	日本の政治 摂政（太政大臣）	政権（征夷大将軍）	熊野信仰	仏教	世界			
690		天武天皇 673-686								
700		持統天皇 686-697			役行者 六根清浄 修験道道を開いた					
710	奈良時代 (710~794)	文武天皇 697-707	高市皇子/690-696	巨勢麻呂/709- 多治比縣守/720-721	熊野が『神々の郷』として古事記（712年）、 日本書紀（720年）に記載	神宮寺建立（715） 越前国気比大神				
720		元明天皇 707-715								
730		元正天皇 715-724								
740		聖武天皇 724-749					神仏習合：家都御子神＝阿弥陀如来 (熊野三所権現＝熊野十二所権現)	(奈良仏教系) 南都六宗系		
750		孝謙天皇 749-758			道鏡禪師太政大臣			熊野本宮大社＝家都御子神＝素戔嗚尊＝阿弥陀如来	華嚴宗、審祥(生没年不詳)、東大寺	
760		淳仁天皇 758-764			藤原仲麻呂/760-764			熊野速玉大社＝薬師如来	法相宗、道昭（629~700）、興福寺薬師寺	
770		称徳天皇 764-770			道鏡/765-766		大伴家持/784-785	熊野那智大社＝千手観音（33カ所霊場）→補陀洛渡海	律宗、鑑真(688~763)、唐招提寺	
780		光仁天皇 770-781					紀古佐美/788-789			
790					桓武天皇 781-806		大伴弟麻呂/793-794			
800		平城天皇 806-809		坂上田村麻呂/797-808	本宮：家都御子の神、西方極楽浄土					
810		嵯峨天皇 809-823		文屋綿麻呂/811-816	速玉：熊野速玉男神、浄瑠璃浄土					
820		淳和天皇 823-833			那智：熊野牟須美神、補陀洛浄土					
830		仁明天皇 833-850								
840					熊野別当による熊野三山の統括（812年~1288年）					
850		文徳天皇 850-858	藤原良房/857-872			(平安仏教)				
860		清和天皇 858-876			『庚申信仰』は奈良時代中国より伝来した道教の『三尸説』に由来、 一般化したのは江戸時代	天台宗、最澄（767~822）、比叡山延暦寺				
870		陽成天皇 876-884								
880		光孝天皇 884-887	藤原基経/881-891		『地藏菩薩』中国伝来の末法思想の結果『地獄』に墮ちたものの 責め苦を和らげる、道祖神信仰と習合	真言宗、空海（774~835）、高野山 (空海のそばに眠りたい・・・墓)				
890		宇多天皇 887-897			『道祖神』信仰	弘法大師：816年高野山開山	五代(907~958)			
900		醍醐天皇 897-930			宇田法王による最初の熊野御幸/907					
910										
920										
930		朱雀天皇 930-946	藤原忠平/936-949		『安珍清姫伝説』928年頃、歌舞伎『京鹿子娘道成寺』、 『道成寺のてまり唄』、清姫祭り（7月）	地藏信仰				
940		村上天皇 946-967		藤原忠文/940-						
950	平安時代 (794~1192)		藤原実頼/968-970							
960		冷泉天皇 967-969	藤原伊尹/971-972							
970		円融天皇 969-984	藤原兼通/974-977							
980		花山天皇 984-986	藤原頼忠/978-989		花山天皇：藤原兼家の陰謀で天皇の地位を追われる（19歳）	陰陽道：占術と呪術をもって災異を 回避する方法を示した。	北宋 (960~1127)			
990		一条天皇 986-1011	藤原兼家/990-990		牛馬童子のモデル、箸折峠、近露	日本独自の発展を遂げる。安倍晴明				
1000			藤原為光/991-992		和泉式部（978~ ）：伏し拝み王子					
1010			三条天皇 1011-1016	藤原道長/1017-1018						
1020			後一条天皇 1016-1036	藤原公季/1018-1029						
1030			後朱雀天皇 1036-1045							
1040			後冷泉天皇 1045-1068	藤原頼通/1062-1062		修験者＝先達：熊野への案内				
1050			藤原教通/1070-1071							
1060		後三条天皇 1068-1072	藤原信長/1080-1089		熊野権現垂迹縁起（三休月）1163					
1070		白河天皇 1072-1086	藤原師実/1089-1089		藤原宗忠(1062~1141)：日記『中右記』					
1080		堀河天皇 1086-1107	藤原忠実/1113-1113							
1090			久我雅実/1123-1124							
1100		鳥羽天皇 1107-1123	藤原忠通/1129-1129							
1110			藤原忠通/1149-1150							
1120		崇徳天皇 1123-1141	三条実行/1150-1157							
1130			藤原宗輔/1157-1160		藤原秀衡(1122~1182)：秀衡桜伝説、乳岩、胎内くぐり、継桜		南宋 (1127~1279)			
1140		近衛天皇 1141-1155	藤原伊通/1160-1165							
1150		後白河天皇 1155-1158	平清盛/1167-1167							
1160		二条天皇 1158-1165	花山院忠雅/1168-1170		平清盛(1118~1181)：熊野参り1116					
1170		六条天皇 1165-1168	松殿基房/1171-1171							
1180		高倉天皇 1168-1180	藤原師長/1177-1179	源義仲/1184						

年代	時代	天皇	日本の政治 摂政(太政大臣)	政権(征夷大将軍)	熊野信仰	仏教	世界
1190	鎌倉時代 (1192~1333)	安徳天皇 1180-1185	九条兼実/1190-1190	初代 源頼朝/1192-1195	藤原定家：後鳥羽院熊野御幸記	民衆救済の為の儀式 (鎌倉仏教浄土系) 浄土宗、法然(1133-1212)、知恩院 浄土真宗、親鸞(1173-1262)、本願寺 融通念仏宗、良忍(1073-1132)、大念仏時 時宗、一遍(1239-1289)、清浄光寺 (鎌倉仏教禅系) 臨濟宗、栄西(1141-1215)、建二寺・円覚寺 曹道宗、道元(1200-1253)、永平寺・総持寺 (法華系) 日蓮宗、日蓮(1222-1282)、見延山久元 (1281-1368) 元寇 一度目を文永の役 (1274) 二度目を弘安の役 (1281)	
1200		後鳥羽天皇 1183-1198	藤原兼房/1191-1196	2代 源頼家/1202	熊野懐紙 後鳥羽上皇による『和歌の会』、1200年 (切目王子12/3)(滝尻王子12/6)		
1210		土御門天皇 1198-1210	炊御門頼実/1199-1203	3代 源実朝/1203	承久の乱(1221) 後鳥羽上皇、北条政子		
1220		順徳天皇 1210-1221	九条良経/1205-1205	4代 九条頼経/1226-1229	(この後龜山上皇の御幸を最後に公家による熊野詣では無くなった)		
1230		仲恭天皇 1221	炊御門頼実/1209-1209	5代 九条頼嗣/1244-1252			
1240		後堀河天皇 1221-1232	三条公房/1218-1222	6代 宗尊親王/1252-1252	補陀落寺、補陀落渡海		
1250		四条天皇 1232-1242	近衛家実/1222-1223	7代 惟康親王/1266-1289			
1260		後嵯峨天皇 1242-1246	西園寺公経/1222-1223	8代 久明親王/1289-1333	一遍上人：熊野権現が夢枕に立つ。 「信不信をえらばず、浄不浄をきらはず、その札をくばるべし」 札「決定(けつじょう)往生/六十万人」、踊り念仏、 龜山上皇熊野御幸(1281)		
1270		後深草天皇 1246-1259	九条良平/1238-1239	9代 守邦親王/1308-1333			
1275		龜山天皇 1259-1274	近衛兼経/1241-1242				
1280		後宇多天皇 1274-1287	西園寺実氏/1246-1247				
1285		伏見天皇 1287-1298	久我通光/1247-1248				
1290			鷹司兼平/1252-1253				
1295		後伏見天皇 1298-1301	徳大寺実基/1253-1254				
1300		後二条天皇 1301-1308	西園寺公相/1262-1264				
1305		花園天皇 1308-1318	花園通雅/1275-1276				
1310			鷹司兼平/1277-1277				
1315	後醍醐天皇 1318-1333	鷹司基忠/1285-1287					
1320		堀川基具/1289-1290					
1325		西園寺実兼/1292-1293	護良親王/1333-1334				
1330		光厳天皇 1331-1333	洞院公守/1299-1299	成良親王/1335-1336	元弘の乱(1331)：後醍醐天皇による鎌倉幕府倒幕運動。楠木正成、千早城		
1335	南北朝時代 (1336~1392)	光明天皇 1336-1348	二条兼基/1299-1300	初代 足利尊氏/1338-1358		野長瀬一族：幕府に追われた護良親王が十津川に入るときに親王を助けた。 楠木正成が千早城にろう城した際兵糧を運ぶ 横矢姫、尊雅王、	明 (1368-1644)
1340		後村上天皇 1339-1368	土御門定実/1301-1302				
1345		崇光天皇 1348-1351	徳大寺公孝/1302-1304				
1350		後光厳天皇 1352-1371	一条実家/1307-1309	宗良親王/1352			
1355			大炊御門信嗣/1309-1311	2代 足利義詮/1358-1367			
1360			鷹司冬平/1311-1311		曼荼羅		
1365			三条実重/1318-1319	3代 足利義満/1368-1392	那智参詣曼荼羅		
1370			久我通雄/1319-1323		観心十界曼荼羅		
1375			鷹司冬平/1323-1327				
1380			今出川兼季/1332-1333				
1385	室町時代 1338-1573	後龜山天皇 1383-1392	久我長通/1341-1342	伊良親王/1386-		法華宗：山科本願寺 天台宗：天文法華の乱 信長：安土宗論 コロンブス：アメリカ大発見 (1492/10)	
1390			洞院公賢/1348-1350	4代 足利義持/1394-1423			
1395			久我長通/1352-1352				
1400			洞院公賢/1353-1354				
1410			称光天皇 1412-1428	西園寺公重/ -1364	『小栗判官と照手姫』1415年頃		
1420			後花園天皇 1428-1464	久我通相/1366-1368	5代 足利義量/1423-1425		
1430				二条良基/1381-1387	6代 足利義宣/1429-1441		
1440				徳大寺実時/1394-1395	7代 足利義勝/1441-1443		
1450				足利義満/1395-1395	8代 足利義成/1449-1473		
1460			後土御門天皇 1464-1500	久我具通/1395-1396			
1470			三条実冬/1402-1407	9代 足利義尚/1473-1489			
1480	戦国時代 (1467~1573)		徳大寺公俊/1420-1420				
1490			二条持基/1432-1433	10代 足利義尹/1490-1493			
1500			後柏原天皇 1500-1526	一条兼良/1446-1450	11代 足利義澄/1494-1508		
1510				久我清通/1452-1453			熊野比丘尼：
1520			後奈良天皇 1526-1557	西園寺公名/1455-1457	12代 足利義晴/1508-1521		『熊野勤心十界曼荼羅』3点セット曼荼羅、牛黄玉宝印、椰子の葉
1530				二条持通/1458-1460	13代 足利義輝/1521-1526		(戦国時代後半から江戸時代にかけて荘園の資金を集める為に全国を回った)
1540				近衛房嗣/1462-1462	14代 足利義榮/1546-1568		
1550	安土桃山時代	正親町天皇 1557-1586	久我通博/1481-1482	15代 足利義昭/1568	秀吉による寺院の武装解除		

年代	時代	天皇	日本の政治 摂政（太政大臣）	政權（征夷大將軍）	熊野信仰	仏教	世界	
1560	(1573~1603)		久我通博/1485-1485	織田信長/1568				
1570			近衛政家/1488-1490			黄檗宗、隠元(1592~1673)、万福寺		
1580		後陽成天皇 1586-1611	一条冬良/1493-1497	16代 足利義昭/1568-1588				
1590	江戸時代 (1603~1867)		徳大寺実淳/1510-1511		秀吉：1598年秀頼に『熊野牛王札』に血判	家康による寺院諸法度		
1600			近衛尚通/1514-1517	初代 徳川家康/1603-1605		寺社奉行、寺請制度		
1610		後水尾天皇 1611-1629	花山院政長/1518-152	2代 徳川秀忠/1605-1623				
1620		明正天皇 1629-1643	三条実香/1535-1536	3代 徳川家光/1623-1651				
1630			近衛植家/1538-1541					
1640		後光明天皇 1643-1654	近衛前久/1582-1582				清(1644~1911)	
1650		後西天皇 1655-1663	羽柴秀吉/1587-1598	4代 徳川家綱/1651-1680				
1660			霊元天皇 1663-1687				清教徒革命（イギリス） (1641~1649)	
1670				徳川家康/1616-1616				
1680		江戸時代	東山天皇 1687-1709	徳川秀忠/1626-1632	5代 徳川綱吉/1680-1709			
1690		(1603~1867)						
1700			中御門天皇 1709-1735	近衛基熙/1709-1710	6代 徳川家宣/1709-1712			
1710				近衛家熙/1711-1711	7代 徳川家継/1712-1716			
1720					8代 徳川吉宗/1716-17	鳥居源之丞：『熊野道中記』/1722ころ		
1730			桜町天皇 1735-1747	近衛家久/1733-1734				
1740			桃園天皇 1735-1747	一条兼香/1746-1751	9代 徳川家重/1745-1760			
1750				近衛内前/1768-1770				
1760			後桜町天皇 1762-1770	近衛内前/1771-1778	10代 徳川家治/1760-1786			第1次産業革命 (1760~1830)
1770			後桃園天皇 1770-1779					アメリカ独立 (1776/7/4)
1780			光格天皇 1779-1817	九条尚美/1781-1781	11代 徳川家斉/1787-1837			
1790								
1800								
1810				仁孝天皇 1817-1846				
1820			徳川家斉/1827-1841					
1830				12代 徳川家慶/1837-1853				
1840	明治時代	孝明天皇 1846-1866	鷹司政通/1842-1848		官幣社、国幣社、別格官幣社			
1850	(1868~1912)			13代 徳川家定/1853-1858				
1860		明治天皇 1867-1912		14代 徳川家茂/1858-1868	神仏分離令（1868）			
1870			三条実美/1871-1885	15代 徳川慶喜/1866-1867		廃仏毀釈（1870）		
1880			初代 伊藤博文1885	熊野川氾濫により大斎原より高台に遷座（1892?）	(国家統一を神道を基礎に行おうとした)			
1890	大正時代			2代 黒田清隆1888	揚げ地令？生活のための美術品を売った、美術品の海外流出、こ社寺保存法、			
1900				3代 山縣有朋1889	神社合祀令（1906）			
1910	昭和	大正天皇 1912-1926			国宝保存法（海外流失対策）			
1920	(1926~1989)	昭和天皇 1926-1989			南方熊楠：神社合祀反対運動			
1930					ゴースト事件（1935）、自然公園法			
1940								
1950								
1960								
1970	平成							
1980	(1989~)	今上天皇 1989-現在						
1990								
2000						平成十六年七月熊野・吉野・高野の霊場及びこれを巡る参詣道は世界文化遺産に登録された。		
2010								
2020								